

嶺小学校 適正規模地区委員会だより

嶺小学校適正規模地区委員会

平成23年6月1日 No. 5

第5回「嶺小学校適正規模地区委員会」を開催しました

去る5月13日に、第5回嶺小学校適正規模地区委員会を開催いたしました。今回の委員会では、新たに6名の委員さんに加わっていただきました。

委員会では、まず、小規模校のメリット・デメリットについて、市教委から資料が提出され、学校長より学校経営面における嶺小学校の実態について説明がありました。その後、前回に引き続き、嶺小学校を存続した場合のメリット・デメリットをテーマに協議を行いました。委員会の概要は下記のとおりです。

記

○ 新しく加わった委員（敬称略）

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ・池田 保（嶺町自治会長） | ・北爪 初男（金丸自治会長） |
| ・田中 榮治郎（嶺町老人会長） | ・福嶋 広美（育成推進委員） |
| ・山田 真美（PTA副会長） | ・長谷川 直美（PTA副会長） |

○ 小規模校のメリット・デメリット～嶺小学校の実態について～（学校長より）

(1) 嶺小学校のよさについて

① 児童の視点から

- ・異年齢の集団や縦割りの活動等、全校での活動が大変多いため、児童間の仲がよい。
- ・児童一人一人が主役になった様々な場面での活動、教師と児童が一体となったふれ合い活動など、いろいろな経験ができ、これらの活動を通して、児童一人一人が個性を発揮している。

② 教員の視点から

- ・全教職員で児童にかかわったり、個に応じた指導をしたりすることが容易である。
- ・学校、家庭、地域の連携が強く、保護者の方々が教育活動に協力的である。

(2) 嶺小学校の課題について

- ・人数が少ないために子ども同士で切磋琢磨する場面が少ない。多様な考え方が引き出しにくく、自分の考えに自信がもてなかったり、やや工夫に偏りが見られたりする場面がある。また、大人数での経験が少ないために、集団活動の場面では萎縮しやすい面がある。
- ・人間関係が固定してしまう傾向があり、望ましい集団ができにくいこともある。

(3) 学校の課題解決について

- ・本年度より高学年が、宿泊体験学習を芳賀小学校と合同で行う。

○ 協議の主な内容

(1) メリットについて

- ・嶺小学校地域の環境のよさから、素直であいさつがしっかりできる児童が育っている。
- ・運動会では1年生からいろいろな種目に出場したり、3年生からマーチングに参加できたりするなど、児童一人一人に様々な役割や経験の場があり、児童にとってよい思い出や自信に繋がる。
- ・嶺小学校の卒業式は、他に例を見ないほど、感動的で素晴らしいものである。
- ・複式学級で毎年学級のメンバーが変わるので、刺激があり、1年間で児童が成長できた。
- ・少人数だからこそ、自分から進んでやりたいことに挑戦し、いろいろな経験ができた。

(2) デメリットについて

- ・高学年の児童は学校のリーダーとして様々な役割ややらなければならないことがあるが、人数が少ないためにやや負担が大きい。
- ・少人数での登下校であることから、特に下校時の安全面が心配である。
- ・同学年の児童数が少ないことから、人間関係が狭く、逃げ場なくなることがある。
- ・大きい集団の中に入ったときに萎縮してしまうことがある。

(3) その他

- ・芳賀小と合同で学習することや交流の場をもつことはよいことである。

◆「前橋市立小中学校適正規模・適正配置基本方針」は教育委員会ホームページでご覧いただけます
(<http://www.city.maebashi.gunma.jp/kbn/15400073/15400073.html>)

＜「地区委員会だより」も後日ホームページ上に掲載いたします＞

◆問い合わせ先：前橋市教育委員会学校教育課教育企画係 電話：898-5865(ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ) FAX:221-3418